

シルク博物館平成30年度年報

シルク博物館

令和元年10月

シルク博物館平成 30 年度年報

目次

1 ごあいさつ	1
2 建物の概要	2
3 平成 30 年度のおもな出来事	2
4 事業	3
(1) 展示事業	3
ア 常設展示	
イ 春の企画展「江戸の粋とデザイン—小袖コレクションから」	
ウ 秋の特別展「第 25 回全国染織作品展」	
(2) 教育普及事業	6
ア チャレンジ! かいこプログラム	
(3) 実演・講習会	9
ア くみひも作り体験	
イ 手作り真綿の実演と講習会	
ウ スカーフ染め体験	
エ 手描き友禅色挿し体験	
(4) 講座・後援会	10
ア 連続講座 60 周年プレイベント「いざ横浜—生糸を運ぶ」	
イ シルクサロン	
(5) 実習生等の受入れ	11
ア 博物館実習生の受入れ	
イ 社会研修生の受入れ	
(6) 連携事業	11
ア シルキーウインターフェスティバル	
イ 横浜絹フェスティバル	
(7) 資料活用事業	13
ア 購 入	
イ 寄 贈	
ウ 資料の貸出	
エ 資料の特別利用	
(8) 刊行物	15
(9) 執筆・講演	15
ア 執 筆	
イ 講 演	
(10) レファレンス	15

(11) 後援・協力.....	16
ア 後援等	
イ 他機関への協力	
(12) 職員の派遣.....	17
(13) 広 報.....	17
ア テレビ・ラジオ	
イ 新聞・業界紙	
ウ W E B	
エ 書 籍	
オ ミニコミ・研究誌等	
5 資料.....	22
(1) 組織と職員.....	22
(2) 事業費.....	22
(3) 所蔵資料.....	22
(4) 入館者状況.....	23
(5) 過去の特別展・企画展一覧.....	24

1 ごあいさつ

シルク博物館は、1959（昭和34）年3月に、横浜開港100年記念事業の一環として建設されたシルクセンターの中に開設され、絹の科学・技術の理解や絹を用いた服飾品の工芸美を鑑賞する場を提供するとともに、日本の絹の需要促進や国際観光の振興に寄与する目的をもって、さまざまな事業を展開してまいりました。そして、2019年3月12日に開館60周年という記念すべき日を迎えることができました。

平成30年度は、より多くの来館者のみなさまに絹の文化に親しんでいただけるよう、展示と教育普及事業を軸として、さまざまな博物館活動に取り組みました。

展示事業では、常設展示においては、染織品や錦絵などの収蔵品を定期的に展示替えしながら紹介しましたが、特に季節にあわせて展示した着物は、内外のお客様に好評でした。また、春は企画展「江戸の粋とデザイン 一袖コレクションから」を開催し、秋は2年ごとの公募展「第25回全国染織作品展」を開催しました。

教育普及事業では、小学生を対象とした蚕に関する一連の普及事業を、新たに「チャレンジ！かicoプログラム」という名称に変更して実施しました。このほか、土曜日を中心に多彩なワークショップを開催し、外部講師を招いての連続講座のほか、当館学芸員による講座も実施しました。

また、本年度は、開館60周年記念事業として実施する館内環境整備工事にむけて、具体的な準備を行いました。

これからも、より充実した博物館活動を通じて、日本のシルクの魅力をより多くの方にお伝えできるよう、つとめてまいります。今後とも、シルク博物館の活動にご理解とご協力をいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

2019（令和元）年10月

シルク博物館

2 建物の概要

【博物館】

展示面積 (2階)	798.00 m ² (241.39 坪)	※受付前、ミュージアムショップを含む
(3階)	558.03 m ² (168.80 坪)	
イベントホール	212.72 m ² (64.35 坪)	
第一収蔵庫	21.76 m ² (6.58 坪)	
第二収蔵庫	46.24 m ² (13.99 坪)	
映写室	24.48 m ² (7.41 坪)	
準備室	62.62 m ² (18.94 坪)	
図書室	67.80 m ² (20.51 坪)	

改装 昭和 44 年 (開館 10 周年記念)
平成 11 年 (開館 40 周年記念)
平成 24 年 (開館 53 周年記念)

【シルクセンター】

所在地 神奈川県横浜市中区山下町 1 番地
構造 地下 2 階、地上 9 階、塔屋 2 階
建築面積 2,970 m²(900 坪)
延床面積 24,983 m²(7,570.85 坪)
設計監理 坂倉準三建築研究所
施工 鹿島建設株式会社
経過 起工 昭和 32 年 11 月
竣工 昭和 33 年 11 月 (一部)、昭和 34 年 3 月 12 日 (全館竣工)
開館 昭和 34 年 3 月 12 日

3 平成 30 年度のおもな出来事

- ・春の企画展と秋の特別展を各 1 回開催した。
- ・小学生を対象とする蚕について学ぶ一連の教育普及事業を「チャレンジ! かいこプログラム」としてまとめ、年間を通じて実施するプロジェクトと位置づけた。
- ・開館 60 周年記念事業プレイベントとして、連続講座「いざ横浜一生糸を運ぶ」を開催した。

4 事業

(1) 展示事業

ア 常設展示

年間を通して蚕の飼育展示、繭やシルクの科学、絹製品などができる過程、衣食住にかかわる絹製品、蚕糸業の歴史、日本の復元時代風俗衣装人形、重要無形文化財保持者をはじめとした現代作家の着物、掛袱紗、アジアを中心とした民族衣装、蚕織錦絵など、シルクに関するさまざまな展示を、展示替えを行いながら展開した。また、時代復元衣装人形4躰（鎌倉時代女性、桃山時代女性、江戸時代前期女性、昭和初期花嫁）の着装を実施し、展示替えした。さらに体験用の機織り機の経糸を交換した。

イ 春の企画展「江戸の粋とデザイン—小袖コレクションから」

小袖は江戸時代の基本的な服装の形で、現代の「きもの」の原型とされるものである。武家の女性が着用していた小袖は、友禅や刺繍、絞りの技法を全面に施した絢爛豪華なものも多く、そのデザインは吉祥、植物、風景、文学などの題材が多岐にわたっている。一方、町方の女性が着用していた小袖も粋な工夫を凝らしたものもあり、当時の女性ファッションを垣間見ることができる。本展では、観覧者が“江戸の粋とデザイン”を堪能し、日本の服飾文化への理解を深めていただくことを目的とし、当館所蔵の小袖65領を中心に、衣装裂、錦絵なども含めて展示紹介した。

【会期】平成30年4月28日（土）～6月3日（日）（開催期間32日間）

【主催】シルク博物館

【後援】神奈川県／横浜市文化観光局／神奈川新聞社／tvk／NHK横浜放送局／横浜繊維振興会

【展示】小袖65点、衣装裂12点、時代復元衣装4点、錦絵5点

※なお、小袖は会期中展示替を実施し、二期に分けて紹介した。

【関連企画】

企画名	実施日	回数	講師	参加者
講座「江戸時代女性のファッション トレンド—移り変わる小袖の美—」	5/12(土)	1回	長崎 巖 氏	40人
ギャラリートーク	5/3(土)、6/2(土)	2回	当館職員	40人

【入館者数】

(単位：人)

	正規料金／入館者				割引料金／入館者				無料※	入館者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	788	398	168	480	193	214	109	439	1,611	4,400
外国人	87	27	6	4	28	0	0	0	—	152
計	875	425	174	484	221	214	109	439	1,611	4,552

※招待券、優待券など無料入館者

【写真】



ウ 秋の特別展「第25回全国染織作品展」

絹は独特の光沢や風合い、染色性の良さなどを有し、古くから優れた高級衣料素材として用いられてきた。そして、古代から受け継がれてきた高度な染織技術は、日本の大切な伝統文化となっている。

本展では、絹を用いた染織作品を広く全国から募集し、厳正な審査のうえ、入選作品を一堂に展覧した。本展を通じて、次代をになう新進作家の育成及び染織技術の向上と服飾文化の発展を図るとともに、絹の需要増進に努めた。

【会期】平成30年10月20日（土）～11月25日（日）（開催期間32日間）

【主催】シルク博物館

【後援】神奈川県／横浜市文化観光局／神奈川新聞社／tvk／NHK横浜放送局／
一般財団法人織質会館／一般財団法人大日本蚕糸会／
一般財団法人日本真綿協会／東京織物卸商業組合／横浜繊維振興会

【展示】全国公募による入選作品64点（入賞作品12点含む）

第24回展までの大賞・館賞作品より15点

【図録】「第25回全国染織作品展」 A4判 40頁

【関連企画】

企画名	実施日等	回数	担当者・主催共催	参加者
シルクのきもの試着体験	11/17(土)	1回	当館職員	2人
ギャラリートーク	10/20(土)、11/10(土)	2回	当館職員	12人
シルク講座	11/24(土)	1回	下村輝（下村ねん糸）	23人
第15回「試作竹箴と織布帛展」	11/21(水)～25(日)		主催：日本竹箴技術保存研究会 共催：シルク博物館	

【入館者数】

(単位：人)

	正規料金／入館者				割引料金／入館者				無料※	入館者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	438	540	72	100	151	194	27	600	1,363	3,485
外国人	88	58	6	3	0	0	0	0	—	155
計	526	598	78	103	151	194	27	600	1,363	3,640

※招待券、優待券など無料入館者

【写真】



(2) 教育普及事業

ア チャレンジ！かいこプログラム

当館が実施してきた春の「蚕種配布」、夏の「かいこ教室」、冬の「たのしいかいこの発表会」等の企画や、通年開催のワークショップ、学校の団体利用等、蚕にかかわる教育普及活動を「チャレンジ！かいこプログラム」と位置づけ、今年度は広報の範囲を横浜市内から神奈川県内全域の小学校まで広げ、当プロジェクトの周知をはかった。

第1弾 蚕種配布

蚕の飼育を通してシルクに興味を持っていただくことを目的とし、横浜市内を含めた神奈川県内全域の小学校等に蚕種の有償配布を実施した。なお、指導者用資料として蚕種配布者全員に「蚕の飼育マニュアル」を配布するとともに、教員を対象とした「かいこについての講座」も開講した。

【配布日】 平成30年5月17日(木)～5月19日(土) (3日間)

【配布件数】 214件 (うち横浜市立小学校104件、県内公立小学校14件、その他96件)

【配布数】 蚕種：458袋 (1袋約450粒入)、人工飼料：207本

【関連企画】

企画名	実施日	回数	講師	参加者
かいこについての講座	5/17(木)、18(金)、19(土)	5回	当館職員	133人

第2弾 かいこ教室

当館の展示や当館で実施する体験を通して、蚕の成長過程・種類、繭や生糸の特徴等について楽しく学び、シルクを生み出す「かいこ」について、子どもたちにより一層興味・関心を持っていただくため、夏休み期間を利用して開催した。

【会期】 平成30年7月28日(土)～8月12日(日) (開催期間計14日間)

【主催】 シルク博物館

【後援】 神奈川県教育委員会／横浜市教育委員会／神奈川新聞社／tvk／NHK横浜放送局／
一般財団法人日本真綿協会

【展示】 めずらしいかいこの展示および人気投票、まゆるんと学ぼう！「かいこ」ってどんな生き物？
(蚕の生態に関する解説パネル)、みんなで作ろう！桑の木パネル

【体験】 映画「かいこ」の上映、かいこの観察会、まゆる人形作り、生糸のランプシェード作り、
まわたのスタンド作りとシルク博物館の見学ツアー

体験(平日)	参加者
映画「かいこ」の上映	120人
かいこの観察会	167人
まゆる人形作り	174人
生糸のランプシェード作り	154人

※各体験は1日2回、各回定員20名で開講し、
1日で全ての体験に参加できるプログラムとした。

体験（土日）	参加者
まわたスタンド作りとシルク博物館の見学ツアー	83人

※1日3回、各回定員8名で開講した。

【入館者数】

（単位：人）

	正規料金／入館者				割引料金／入館者				無料※	入館者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	355	35	29	280	93	26	4	177	266	1,265
外国人	40	34	3	6	0	0	0	0	—	83
計	395	69	32	286	93	26	4	177	266	1,348

※招待券、優待券など無料入館者

【写真】



第3弾 団体利用・ワークショップ

a 団体利用

団体見学のなかでも学校利用が大きな割合を占める当館では、説明や映写、ワークシートの利用を含めた見学を通して、蚕について知識を深めるだけでなく、蚕が生み出す「シルク」についての学習へとつなげていくため、見学内容の充実を図った。なお、学校やクラスによって学習したい内容が異なるため、事前に担当教員との打ち合わせも積極的に行なった。

【団体利用数】 51校のうち小学校は38校（横浜市立校25校）

【下見数】 22校

b 子ども向けワークショップ「まゆ人形作り」・「まわたのアヒル人形作り」

蚕が作った繭の特徴等について、子どもたちが楽しく学べる機会を増やすため、当館オリジナルキャラクター「まゆるん」の繭人形作り、真綿を利用したアヒル人形作りのワークショップを開催した。

企画名	実施日	回数	講師	参加者
まゆ人形作り	4/14、5/12、6/2、6/9、7/14、9/8、10/13、11/10、12/8、12/15、1/12、2/9、3/9（各回土曜日）	13回	当館職員	33人
まわたのアヒル人形作り	6/30、8/25、9/29、2/23、3/30（各回土曜日）	5回	当館職員	7人

第4弾 たのしいかいこの発表会

「チャレンジ！かいこプログラム」の集大成として、子どもたちが飼育した蚕の観察記録や繭や生糸を使った作品を募集し、蚕について学んだ成果等を発表する機会として開催した。なお、12月16日には表彰式も実施した。

【会期】平成30年12月8日(土)～平成31年1月14日(月・祝)（開催期間26日間）

【展示】出品作品の展示（出品団体数17件、制作者総数578名、出品数130点）、
みんなでつくろう！桑の木パネル（かいこ教室時に作成したもの）

【関連企画】

企画名	実施日	回数	講師	参加者
たのしいかいこの発表会 表彰式	12/16(日)	1回		43人
生糸のランプシェード作りクリスマスバージョン	12/22(土)	1回	当館職員	3人

【写真】



【入館者数】

開催期間が同じシルキーウィンターフェスティバルの入館者数を含む

(単位：人)

	正規料金／入館者				割引料金／入館者				無料※	入館者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	228	82	28	—	24	85	23	—	861	1,331
外国人	40	8	9	—	0	0	0	—	0	57
計	268	90	37	—	24	85	23	—	861	1,388

※「無料」：期間中の小・中、招待券、優待券など無料入館者、及び12月16日(日)入館者

(3) 実演・講習会

ア くみひも作り体験

鎧や刀、帯締めなどに使われてきたくみひもを、より身近に感じていただくため、くみひものストラップ作りの体験を実施した。

企画名	実施日	回数	講師	参加者
くみひもストラップ作り	4/28、5/26、6/23、9/22、10/27、 11/24、1/26、3/23 (各回土曜日)	8回	当館職員	11人

イ 手作り真綿の実演と講習会

真綿作りの伝統的な技術を次の世代に伝えるため、真綿に関する実演や講習会を開催した。

【後援】一般財団法人日本真綿協会

企画名	実施日	回数	講師	参加者
手作り真綿の実演	4/7(土)、5/5(土)、6/2(土)、9/1(土)、 10/6(土)、11/3(土)、12/8(土)、1/5(土)、 2/2(土)、3/2(土)	10回	河合貞子	
真綿からの太糸作り 実演	4/21(土)、5/19(土)、6/16(土)、7/21(土)、 8/18(土)、9/15(土)、10/20(土)、 11/17(土)、12/15(土)、1/19(土)、 2/16(土)、3/16(土)	12回	河合貞子	
手作り真綿の講習会	7/5(木)、7/6(金)、7/7(土)、7/8(日)	4回	河合貞子	11人
手紬糸作り実演	5/3(木・祝)、5/4(金・祝)、7/22(日)、 11/4(日)	4回	田村恭子 (伝統工芸士)	
手紬糸作り講習会	11/23(金・祝)	1回	田村 恭子 (伝統工芸士)	6人

ウ スカーフ染め体験

シルクスカーフに親しんでいただくため、シルクの白いスカーフ生地やシルクハンカチにビー玉やゴムを使って簡単な絞り模様をほどこし、草木染め染料による染色体験を実施した。本年度は新たに子ども向けのハンカチ染め体験も実施した。

企画名	実施日	回数	講師	参加者
スカーフ染め体験（成人向け）	6/30(土)	1回	佐藤 のり子	3人
小さなシルクハンカチ染め体験 （子ども向け）	7/15(日)、7/16(月・祝)	2回	佐藤 のり子	22人

エ 手描き友禅色挿し体験

美しい友禅染をより身近なものとして親しんでいただくため、友禅染めの糸目糊による模様が描かれた絹生地に色を挿す体験を実施した。

企画名	実施日	回数	講師	参加者
手描き友禅色挿し体験	5/27(日)	2回	生駒暉夫(日本工芸会正会員)	15人

(4) 講座・後援会

ア 連続講座 60周年イベント「いざ横浜—生糸を運ぶ」

平成31年度にシルクセンター開館60周年を迎えるにあたり、昨年に引き続きイベントとして申込制の連続講座を開催した。

安政6(1859)年の開港以来、横浜は欧州諸国や米国との貿易によって大きく発展していった。日本の輸出品目のなかでも特に莫大な外貨を稼ぎ出し、近代化に大きく貢献した生糸は、日本各地で繭から生糸へと製糸され、さまざまな道を通り横浜の地へと集積された。大正12(1923)年の関東大震災による被害を受けるまで、全国の生糸はすべて横浜港から海外へと送られていた。本講座では、時代の流れに応じて変化した横浜への生糸の輸送手段を、水運・陸運・鉄道という3つの視点から紹介した。

【開催日等】

講座名	実施日	講師	参加者
「神奈川湊・横浜港の水運とシルク」	1/12(土)	吉崎雅規氏 (横浜開港資料館 調査研究員)	38人
「生糸が運ばれた道 —八王子と横浜を結んで—」	2/9(土)	西川武臣氏 (横浜開港資料館 館長)	31人
「生糸と鉄道の近代史」	3/9(土)	老川慶喜氏 跡見学園女子大学教授・立教大学名誉教授	32人

※3回すべてに出席できることを条件とし、定員40名のところ84名の申込があった。

イ シルクサロン

蚕や絹、染織品など多彩な話題を学芸員がわかりやすく解説する講座。

講座名	実施日	講師	参加者
「シルクを生み出すカイコの不思議」	5/26(土)	坂本英介	10人
「古代神奈川における養蚕と絹」	8/25(土)	望月一樹氏 (神奈川県立歴史博物館学芸部長)	9人
「錦絵にみる養蚕」	12/1(土)	石鍋由美子・高橋典子	3人
「花のきものを楽しむ」	2/23(土)	大野美也子	5人

(5) 実習生等の受入れ

ア 博物館実習生の受入れ

学芸員養成に協力するとともに当博物館を広く周知し、絹に対する理解と関心を深めていただくため、講義と普及活動の実践（蚕の飼育も含む）による受入れを行った。前半はシルク博物館の活動や役割についての講義、後半は「かいこ教室」で普及活動の実践を行った。講義で得たことを来館者に自ら説明することで、絹に関わる産業、歴史、文化への興味関心を深めていただく機会とした。

【実習期間】平成30年7月24日（火）～8月10日（金）（二班に分け実施）

【受入校】お茶の水女子大学（4年）、昭和女子大学（4年）、専修大学（3年）、
鶴見大学（4年）、日本女子大学（4年）、立正大学（4年）各1、計6人

イ 社会体験研修生の受入れ

神奈川県教員5年経験者研修・社会体験研修生1名を受け入れた。本研修は、教員が異業種の体験を通して、組織の中で自らが果たすべき責任や役割を学び、教育活動にいかすことをねらいとして実施されているもので、当館の教育普及事業の実施に携わった。

【実習期間】平成30年8月10日（金）～12日（日） 3日間

【受入】平塚市立浜岳中学校 教諭 1人

(6) 連携事業

ア シルキーウィンターフェスティバル

多くの方々にシルク博物館に来ていただき、楽しくシルクへの理解と関心を深めることを目的として、ミニ展示とクリスマスイベントを実施した。また、シルクミュージアムショップの協力により、シルクフェア（スカーフやネクタイ等のワゴン販売）も実施した。

【会期】平成30年12月8日（土）～平成31年1月14日（月・祝）（開催期間26日間）

【主催】シルク博物館

【協力】関東学院大学／クラシック・ヨコハマ2018 横浜市民広間演奏会／

横浜シルクミュージアムショップアソシエーション

【展示等】横浜輸出スカーフのミニ展示、ホール正面壁面とその周辺の飾りつけ
(共に関東学院大学の協力による)

【イベント】シルキークリスマス (無料入館日・総入館者数 262 人)

プログラム名	実施日	出演者等	観覧者
シルクスカーフを用いたファッションショー	12/16	関東学院大学	56 人
クラシック・ヨコハマ 2018 クリスマスコンサート		横浜市民広間演奏会	84 人

【入館者数】開催期間が同様の「たのしいかいこの発表会」の入館者数を含む (単位：人)

	正規料金/入館者				割引料金/入館者				無料※	入館者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
日本人	228	82	28	—	24	85	23	—	861	1,331
外国人	40	8	9	—	0	0	0	—	0	57
計	268	90	37	—	24	85	23	—	861	1,388

※「無料」：期間中の小・中、招待券、優待券など無料入館者、及び 12 月 16 日(日)入館者

【写真】



イ 横浜絹フェスティバル

当館では、横浜絹フェスティバル実行委員会(事務局:松村株式会社内)の一員として、絹とともに発展した街「横浜」で、様々な取り組みを通して絹の魅力を発信し、絹の需要促進につなげるため、平成 29 年度に引き続き第3回横浜絹フェスティバルに参加した。

【企画名】ヨコハマ“絹 FES” in 大さん橋

横浜港大さん橋国際客船ターミナルホール内の特設会場付近に、横浜とシルクに関するパネル展示を行った。

【会期】平成 30 年 11 月 15 日（木）14 時～20 時、16 日（金）11 時～20 時、17 日（土）11 時～18 時

【主催】横浜絹フェスティバル実行委員会

（横浜繊維振興会／日本シルクを守り育てる会／シルク博物館／横浜ベイホテル東急／株式会社新日屋／株式会社 KW プロジェクト／株式会社和工房・紋／池田企画／株式会社高島屋など）

【後援】経済産業省関東経済産業局／横浜市文化観光局／横浜市経済局／横浜商工会議所／公益財団法人横浜観光コンベンション・ビューロー／一般財団法人大日本蚕糸会／一般社団法人横浜港振興協会／公益財団法人横浜貿易協会／神奈川倉庫協会／NHK 横浜放送局／tvk／神奈川新聞社／朝日新聞横浜総局／読売新聞社横浜支局／毎日新聞横浜支局／産経新聞社横浜総局／東京新聞横浜支局／桐生タイムス社／タウンニュース社／ヨコハマ経済新聞

【入場者数】 約 3,900 名

【写真】



【連携内容】

企画名	実施日	協力内容
“絹フェス”ヨコハマ絹遺跡をたどる (主催：NPO 法人横浜シティーガイド協会／横浜絹フェスティバル実行委員会)	11/15(木)、 17(土)	・ ツアー参加者(計 73 人)の入館料免除 ・ ツアー参加者への館内案内(約 15 分)

(7) 資料活用事業

ア 購入 3 点

資料名	点数	制作者
織訪問着「水辺の Modernism－桂－」	1	高橋怜子
型染着物「つわ蒔」	1	海瀬美紀江
DVD「友禅－二塚長生のわざ－」	1	(株)桜映画社

イ 寄贈 214点

資料名	点数	寄贈者
生糸商標	174	門奈伸幸
村山大島着尺・羽織	2	高水勝良
スカーフ捺染用版木	3	倉田俊一
永山登志子氏作品	35	永山寿一

ウ 資料の貸出 2件 12点

資料名	点数	事業名	貸出先	期間
生地 藍地唐花文羅 喜多川平朗作	8	「日本のわざと美」展 —重要無形文化財と それを支える人々—	文化庁 福島県立博物館 (会場：福島県立博 物館)	10/27(土)～ 12/2(日)
袴地「松濤」精好仙台平 甲田栄佑作				
帯 七献立献上博多織 小川善三郎作				
舞小袖「落葉」縮緬地友禪染繡 田畑喜八作				
留袖「雲文」縮緬地友禪染 中村勝馬作				
木版摺更紗着物「花合歡」 鈴田滋人作				
型紙「御所伽」伊勢型紙突彫 南部芳松作				
型紙「三筋亀甲菱菊」伊勢型 紙道具彫 中村勇二郎作				
女性用ボディ	4	「鎌倉ゆかりの芸能と 儀礼」	神奈川県立歴史 博物館	10/27(土)～ 12/9(日)

エ 資料の特別(写真)利用 4件 11点

資料名	点数	掲載誌等	利用者	掲載日等
生糸(総)・家蚕(繭)	2	松村株式会社ホームページ	松村株式会社	6/29(金)
占領下製造スカーフ・ 同生糸商標	2	京都市立芸術大学美術学部教 員(牧田久美)のGHQ絹貿 易に関する論文	京都市立芸術大学図書館	未定
蚕の写真	5	小学3年生理科テスト	株式会社新学社	2019年 4月

錦絵「かいこやしないの図」(広重)・輸出用生糸商標(力士図)	2	『社会科 中学生の歴史一日本の歩みと世界の動き―(仮称)』	株式会社帝国書院	2021年4月(予定)
--------------------------------	---	-------------------------------	----------	-------------

(8) 刊行物

『第25回全国染織作品展』図録 A4判 40頁 平成30年10月19日発行

「平成30年度下半期 催し物案内」 A3三つ折り 平成30年9月発行

「平成31年度上半期 催し物案内」 A3三つ折り 平成31年3月発行

(9) 執筆・講演

ア 執筆

題名	掲載先	掲載日	執筆者
平成30年度第2回研修会参加記	『神奈川県博物館協会報』90号	2019年4月	佐野遊海

イ 講演

題名	内容	講演日	主催	会場	講演者
大人と子供が一緒に楽しむ麦わら細工	江戸時代川崎宿の土産物であった麦わら細工の製作体験講座	7/31(火) 8/22(水)	東海道かわさき宿交流館	東海道かわさき宿交流館	高橋典子
文化財ボランティア養成講座	有形民俗文化財の定義と川崎の代表的な資料について	11/16(金)	川崎市教育委員会	中原区役所	高橋典子
かわさき産業ミュージアム講座	海苔養殖などで栄えた川崎臨海部の生業と暮らしに焦点を当てた講座	11/19(月)	川崎区役所まちづくり推進部、川崎区企画市民交流事業推進委員会	川崎区役所	高橋典子

(10) レファレンス

蚕を飼育する学校、個人からの問い合わせのほかに報道機関からのシルクに関する問い合わせなどが多数あった。

分類	主な内容
蚕の飼育に関して	飼育方法 (ふ化から繭作りまでの各過程)
	繭の活用方法 (糸くり、繭人形、染色、真綿作り)
	蚕の入手方法
	人工飼料の入手方法

	エサ（桑葉）の確保
蚕糸業に関して	絹の道
	養蚕農家
	製糸業

(11) 後援・協力

ア 後援等

後援内容	事業名	主催	期間	事業内容
後援名義使用	「第 11 回国際絞り会議 2018in Japan－伝統産業と文化－」	ワールド絞りネットワーク	6/27(水)～7/10(火)	世界各国で染織の原点ともいわれる絞りをキーとしそれぞれの国の染織文化を通して世界の人々と交流し理解を深め、第 11 回は日本の北の文化を世界に発信するとともに日本の繊維産業の活性化の一助を目的。 名古屋会議・東京会議・山形本会議開催。

イ 他機関への協力

協力内容	事業名	主催	期間	備考
招待ハガキ 100 枚の提供	2018 年横浜ファッションウィーク	横浜ファッションウィーク実行委員会	4/29(日)～5/6(日)、5/13(日)	招待ハガキ1枚持参につき、大人2名まで入館無料
小・中学生、高校・大学生の無料入館	開港記念日	横浜市	6/2(土)	入館者実績:24 人
復刻スカーフ 6 枚の提供	2018 第 16 回パレエココンクール IN 横浜	(公社)日本パレエ協会関東支部	5/1(火)、5/2(水)、5/12(土)	参加者：約 800 人
蚕種(錦秋鐘和)の提供	企画展示「民家の暮らしと生きもの」	川崎市立日本民家園	8 月 15 日(水)～11 月 25 日(日)	企画展関連事業として養蚕のようすを展示
招待券 10 枚の提供	平成 30 年度筑波大学学園祭	筑波大学学園祭実行委員会	11/2(金)～4(日)	入場者：約 33,000 人、ゲームの景品として

招待券 10 枚の提供	Ferris Festival 2018	フェリス女学院大学大学祭実行委員会	11/3(土・祝)、11/4(日)	入場者：6,665人、ゲームの景品として
広告掲載紙への優待券掲載	かながわシルクフェア	かながわシルクフェア実行委員会	3/1(金)～3/8(金)	優待券 1 枚持参につき、大人 2 名まで入館無料

(12) 職員の派遣

協力内容	事業名	主催	期間	備考
審査委員として坂本館長を派遣	平成 30 年度蚕糸絹文化振興対策事業審査会	一般財団法人大日本蚕糸会	5/11 (金) 6/22 (金) 10/2 (火)	審査及び実施者への助言
買取協議員として大野学芸専門員を派遣	無形文化財工芸技術資料の買取協議会	文化庁文化財第一課	12/18(火)	染織部門の協議に参加
理事として大野学芸専門員を派遣	日本真綿協会理事会	一般財団法人日本真綿協会	5/24(木)～2020年5月末	
非常勤講師として高橋典子学芸担当課長を派遣	博物館課程「博物館教育論」	鶴見大学	4月～8月	月曜日 1 限
非常勤講師として高橋典子学芸担当課長を派遣	博物館課程「博物館展示論」	武蔵野美術大学	9月～10月	木曜日 2・3 限

(13) 広報

当館の基本情報や各企画内容について、テレビ・新聞・WEB等、多くの媒体で取り上げられた。また、平成 30 年 4 月より公式ツイッターを本格的に運用開始。平成 31 年 1 月現在でフォロワー数は約 200 人となっている。

ア テレビ・ラジオ 4 件

主な取材内容	放映日	放送局	番組名
シルクの歴史、シルクの今	6/2	tvk	18:00～18:30 横浜市広報テレビ番組「ハマナビ」
チャレンジ! かいこプログラム「かいこ教室」	8/2	J:COM	18:00～「デイリーニュース横浜」 コミュニティチャンネル 《地上デジタル 11ch》

秋の特別展 第25回 全国染織作品展	10/20～ 11/25 会期中 に随時	NHK-FM	平日 11:50～12:00 「天気予報・交通情報」
横浜と絹の関り	2019年1月 以降4回	CS 放送ヒ ストリーチ チャンネル	「高島屋と美の世界～日本の絹を守る～」

イ 新聞・業界紙 17件

主な取材内容	掲載日	新聞社等	掲載欄等
常設 / 基本情報	9/30	読売新聞	地域版「レジェンド かながわ」
春の企画展 江戸の粋とデザイン	4/26	朝日新聞	夕刊 「Around Tokyo」
	5/2	日本経済新聞	神奈川版
	5/14	東京新聞	かながわインフォメーション
	5/18	神奈川新聞	Museum Navi
	5/22	読売新聞	夕刊「くらしと伝統」
チャレンジ! かいこプログラム 「かいこ教室」	7/27	神奈川新聞	イマカナ
	7/28	日本経済新聞	神奈川版
	8/6	東京新聞	かながわインフォメーション
	8/8	朝日新聞	横浜版
秋の特別展 第25回全国染織作品展	5/16	(株)染織新報社	染織新報
	10/26		
	10/31	朝日新聞	夕刊
	11/1	(株)染織新報社	そめとおり 晩秋号
	11/2	神奈川新聞	イマカナ
チャレンジ! かいこプログラム 「たのしいかいこの発表会」 シルキーウィンターフェス ティバル	12/12	東京新聞	横浜版
	12/19	神奈川新聞	横浜地域版 iバザールミニ

ウ WEB

主な内容	掲載日	掲載先等	
常設/基本情報	4月	(株)JTB パブリッシング	るるぶ&more.
	4月	JR西日本 (西日本旅客鉄道(株))	JR おでかけネット
	4月	JR東日本 (東日本旅客鉄道(株))	えきねっと
	4月	ヤフー(株)	YAHOO! JAPAN ロコ
	6月	(株)ナビタイムジャパン	NAVITIME Travel

	7月	(公財)神奈川県観光協会	観光かながわ NOW
	7月	アクトインディ(株)	子どもとお出かけ情報「いこーよ」
	7月	(株)DNP アートコミュニケーションズ	美術館・アート情報の Web マガジン「artscape」
	8月	(株)丹青社	インターネットミュージアム
	9月	(株)日経BP社	日経 DUAL のメルマガ「DUAL おでかけサポート」
	9月	楽天(株) (株)EML(楽天トラベルナビ事務局))	PATW スマートフォンアプリ「楽天トラベル」
	12月	(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー	おもてなしマニュアル 2019
	12月	(株)フリービット EPARK ヘルスケア	障害者向けバリアフリーサイト「バリナビ！」
	3月	GOGB WEB サイト事務局	GOGB WEB サイト
ワークショップ	8月	アクトインディ(株)	子どもとお出かけ情報「いこーよ」
	3月	Cubic (株)	「mirea」
	3月	神奈川県一般社団法人横浜み	「マグカル・ドット・ネット」
	3月	(一社)横浜みなとみらい21	「横浜みなとみらい21」
春の企画展 江戸の粋とデザイン	4月	(株)イープラス	チラシミュージアム
チャレンジ！かいこプログラム 「かいこ教室」	7月	(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー	横浜観光情報 YOKOHAMA VISITORS' GUIDE
	8月	(株)パパカンパニー	あそびい横浜ー横浜で子供と遊ぶ！ー
	8月	アクトインディ(株)	子どもとお出かけ情報「いこーよ」
秋の特別展 第25回全国染織作品展	4月	(株)公募ガイド社	公募ガイド ONLINE
	8月	(公財)横浜市芸術文化振興財団	ヨコハマ・アートナビ
	10月	(株)イープラス	チラシミュージアム
	10月	(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー	横浜観光情報 YOKOHAMA VISITORS' GUIDE
	11月	(株)ハースト婦人画報社	「美しいキモノ」フェイスブック
チャレンジ！かいこプログラム 「たのしいかいこの発表会」	12月	(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー	横浜観光情報 YOKOHAMA VISITORS' GUIDE
シルキーウィンターフェスティバル	12月	アクトインディ(株)	子どもとお出かけ情報「いこーよ」

エ 書籍

主な内容	掲載日	掲載先等	
常設／基本情報	4月	成美堂出版(株)	歩く地図 鎌倉・横浜散歩 2019
	7月	(株)JTB パブリッシング	るるぶ にっぽんの博物館
	11月	TAC 出版(TAC(株)出版事業部)	おとな旅プレミアム横浜 '19-'20年版
	12月	(株)造形社	単車倶楽部 2019年2月号
	12月	日外アソシエーツ(株)	ものづくり記念館博物館事典
	12月	(株)教材研究所	おすすめコース東京+横浜
	12月	(株)美術年鑑社	美術年鑑 平成31(2019)年版
	1月	(株)ミニマル	「るるぶ横浜中華街みなとみらい '20」
	1月	(株)教材研究所	東京散策乗物ガイド
	1月	(株)生活の友社	美術界データブック 2019
	3月	(株)エヌ・ティー・エス	「カイコの実験単」
チャレンジ！かいこプログラム 「かいこ教室」	7月	(株)日経サイエンス	日経サイエンス9月号 別冊付録 「親と子の科学の冒険」

オ ミニコミ・研究誌等

主な内容	掲載日	掲載先等	
常設 ／基本情報	4月	横浜市民局広報課	横浜市「暮らしのガイド」
	4月	(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー	おもてなしマニュアル 2018
	4月	(株)ルーツ	旅うらら横浜ガイドMAP Vol.14
	4月	(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー	横浜ビジターズガイド 2018年度版
	7月	(公財)横浜市芸術文化振興団	ヨコハマ・ギャラリー・マップ 2018-2019
	10月	NEXCO 東日本(東日本高速道路(株))	絹の道めぐり旅 PART3 ～満喫ドライブガイド～
	12月	神奈川県博物館協会	ぐるりかながわミュージアムマップ 2018-2019
	1月	昭和興業(株)	昭和セレモニーズメンバーズマガジン 『昭和くらぶ』 2019新春号 vol.28
	3月	(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー	「横浜 学習・体験ガイド」
ワークショップ	5～11月	(公財)日本博物館協会	博物館研究 2018.5月号、6月号、7月号、9月号、11月号、2019.3月号

/実演	7月	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸・絹産業 提携支援センター	シルクレポート 2018.7月号
春の企画展 江戸の粋とデ ザイン	4～5月	(公財)横浜市芸術文化振興財団	横浜画廊散歩 2018年4月号、5月号
	4月	横浜商工会議所	YOKOHAMA 商工季報 2018 春号
	4月	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸・絹産業 提携支援センター	シルクレポート 2018.4月号
	5月	(株)新聞編集センター	朝日新聞折り込みの定年者向けフリー ペーパー「定年時代」横浜・川崎版
	5月	(株)サンケイリビング新聞社	リビング横浜東版「えるプラーザ」
	5月	(公財)日本博物館協会	博物館研究 2018.5月号
チャレンジ！か いこプログラム 「かいこ教室」	7月	神奈川県政策局政策部総合政策課	平成30年度かながわサイエンスサマー
	7月	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸・絹産業 提携支援センター	シルクレポート 2018.7月号
	8月	(公財)日本博物館協会	博物館研究 2018.8月号
秋の特別展 第25回全国 染織作品展	10～11月	(公財)日本博物館協会	博物館研究 2018.10月号、11月号
	10月	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸・絹産業提携支援センター	シルクレポート 2018.10月号
	10月	横浜商工会議所	YOKOHAMA 商工季報 2018 秋号
	10～11月	(公財)横浜市芸術文化振興財団	横浜画廊散歩 2018年10月号、11月号
	11月	(株)新聞編集センター	朝日新聞折り込みの定年者向けフリー ペーパー「定年時代」横浜・川崎版
チャレンジ！ かいこプログ ラム「たのし いかいこの発 表会」・シルキ ーウィンター フェスティバ ル	10月	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸・絹産業提携支援センター	シルクレポート 2018.10月号
	12～1月	(公財)日本博物館協会	博物館研究 2018.12月号、2019.1月号
連続講座 「いざ横浜～ 生糸を運ぶ」	12月	(株)新聞編集センター	朝日新聞折り込みの定年者向けフリー ペーパー「定年時代」横浜・川崎版
	10月	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸・絹産業提携支援センター	シルクレポート 2018.10月号
シルクサロン	1～2月	(一財)大日本蚕糸会 蚕糸・絹産業提携支援センター	シルクレポート 2019.1月号、2月号
	2月	(公財)日本博物館協会	博物館研究 2019.2月号

5 資料

(1) 組織と職員

【組織図】

一般財団法人シルクセンター国際貿易観光会館

専務理事 — 事務局長

|

(シルク博物館)

博物館部長(館長)(1) — 学芸担当課長(1) 学芸課長(1)

学芸員(1) 事務職員(1) 学芸専門員(1)

非常勤職員(1) アルバイト(4) ※()内は人員

【委嘱者氏名】 名誉館長 マリ クリスティーン

【職員氏名】 博物館部長(館長) 坂本 英介
 学芸担当課長 高橋 典子
 学芸課長 石鍋 由美子
 学芸員 佐野 遊海
 事務職員 内田 真美子
 学芸専門員 大野 美也子
 非常勤職員 高橋 多麻実

(2) 事業費

費目	内容	支出(円)
博物館事業費		8,566,603
内訳)		
普及事業費	常設展示費・特別展開催等	7,333,795
資料整備費	資料補修費・図書資料等収集費	562,604
広報事業費	広告掲載費	108,800
運営管理費	運営委員会開催費・損害保険料	561,404

(3) 所蔵資料

	前年度末の累計 収集・寄贈	平成 30 年度		本年度末の累計
		購入	寄贈	
資料	6,592	2	214	6,808
写真・ビデオなど	609	1	0	610
図書	6,544	0	40	6,584
計	13,745	3	254	14,002

(4) 入館者状況

(単位：人)

	正規料金／入館者				割引料金／入館者※1				無料 ※2	入館者計
	一般	シニア	高・大	小・中	一般	シニア	高・大	小・中		
4月 【22日】	354 (88)	162 (64)	41 (5)	74 (0)	75 (0)	31 (0)	39 (0)	40 (0)	447	1,263 (157)
5月 【26日】	647 (72)	344 (23)	134 (5)	380 (4)	167 (28)	165 (0)	109 (0)	431 (0)	1,318	3,695 (132)
6月 【22日】	399 (59)	127 (17)	43 (2)	340 (7)	121 (0)	66 (0)	0 (0)	876 (0)	543	2,515 (85)
7月 【26日】	560 (155)	172 (84)	36 (13)	177 (8)	123 (0)	26 (0)	3 (0)	722 (0)	517	2,336 (260)
8月 【26日】	564 (57)	120 (38)	65 (6)	308 (7)	103 (0)	34 (0)	18 (0)	119 (0)	557	1,888 (108)
9月 【23日】	304 (67)	115 (45)	42 (2)	113 (6)	61 (0)	56 (0)	67 (0)	754 (0)	384	1,896 (120)
10月 【22日】	305 (97)	412 (77)	75 (2)	71 (2)	44 (0)	102 (0)	3 (0)	372 (0)	571	1,955 (178)
11月 【22日】	380 (49)	291 (33)	55 (5)	51 (1)	118 (0)	174 (0)	25 (0)	468 (0)	993	2,555 (88)
12月 【22日】	208 (38)	77 (8)	25 (6)	15 (0)	26 (0)	41 (0)	23 (0)	1 (0)	749	1,165 (52)
1月 【23日】	219 (31)	91 (6)	47 (13)	64 (2)	36 (2)	56 (0)	7 (4)	177 (0)	397	1,094 (58)
2月 【23日】	221 (37)	83 (6)	35 (6)	209 (5)	40 (0)	35 (0)	1 (0)	228 (0)	411	1,263 (54)
3月 【27日】	330 (77)	137 (34)	43 (3)	100 (3)	215 (0)	57 (0)	9 (0)	211 (202)	616 (58)	1,718 (377)
計 【284日】	4,491 (827)	2,131 (435)	641 (68)	1,902 (45)	1,129 (30)	843 (0)	304 (4)	4,399 (202)	7,503 (58)	23,343 (1,669)

【 】 開館日数 () 外国人

※1 各種割引による入館者

※2 ホール利用者、招待券、優待券等による無料入館者（外国人含む）

(5) 過去の特別展・企画展一覧

年度	特別展等
1959(昭和 34)	シルクセンター竣工記念全国輸出振興展
	特別展『蚕織錦絵展』
1960(昭和 35)	特別展『近世日本衣装名品展』
1961(昭和 36)	特別展『近代染織名作展』
1962(昭和 37)	特別展『日本伝統染織工芸展』
1964(昭和 39)	特別展『オリンピック東京大会記念シルクフェア』
1965(昭和 40)	特別展『能装束展』
1966(昭和 41)	「第 8 回米国貿易見本市出品絹製品展示会」
	特別展『伝統染織作品と紅染資料展』
1967(昭和 42)	特別展『紋と繻の美展』
1968(昭和 43)	特別展 開館 10 周年記念『シルク博物館所蔵品展』
1969(昭和 44)	特別展『江戸時代能装束展』
1970(昭和 45)	特別展『花のきものと髪かざり展』
	特別展『第 1 回シルク博物館染織作品展』
1971(昭和 46)	特別展『第 2 回シルク博物館染織作品展』
1972(昭和 47)	特別展『第 3 回シルク博物館染織作品展』
1973(昭和 48)	特別展『第 4 回シルク博物館染織作品展』
1974(昭和 49)	特別展『第 5 回シルク博物館染織作品展』
1976(昭和 51)	特別展『ヨコハマのスカーフ展』
1977(昭和 52)	特別展『世界の民族衣装展』
1978(昭和 53)	特別展『人間国宝による「絹の伝統染織名作展」』
1979(昭和 54)	特別展『横浜絹の祭典と染織新作展』
1980(昭和 55)	特別展『思い出のきもの展』
1981(昭和 56)	特別展『草木染展と染織新作展』
1982(昭和 57)	特別展『洋装のあゆみとニューファッション展』
1983(昭和 58)	特別展『ふるさとの絹展と第 8 回染織作品展』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
1984(昭和 59)	特別展『花嫁衣装展』
	特別展『江戸期から現代までの「江戸小紋展」』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『郷土かながわの染織作品展』
1985(昭和 60)	特別展『日本人形の細工物展』
	企画展『母と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『フランス絹織物栄光とその先達「リヨン織物美術館秘蔵品展」』
1986(昭和 61)	特別展『ヨコハマのスカーフ展』

	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『関東の絹展と第9回染織作品展』
1987(昭和62)	特別展『レースの美展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ファッションデザイナーによる'87ニューウェーブきもの展』
1988(昭和63)	特別展『ふろしきの今昔展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『'88ニューシルク展と第10回染織作品展』
1989(平成元)	特別展『シルク博物館所蔵名品展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『華麗なる絹の世界へ「絹の文化展」～江戸と現代～』
1990(平成2)	特別展『「日本の紬展」～紬のふる里を訪ねて～』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクまつり'90と第11回染織作品展』
1991(平成3)	特別展『館蔵「蚕織錦絵展」～錦絵にみる時代風俗と衣装～』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『～桂由美コレクション～「世界の民族花嫁衣装展」』
1992(平成4)	特別展『館蔵「染織名品展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクフェア'92と第12回染織作品展』
1993(平成5)	特別展『館蔵「江戸小袖展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『「絹と化粧まわし展」～戦後横綱の化粧まわしによる～』
1994(平成6)	特別展『館蔵「江戸古裂展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクフェスタ'94と第13回染織作品展』
1995(平成7)	特別展『～繡の美～「甞る足柄刺繡展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『「思い出のきもの展」-PART II- ～昭和・平成の衣裳作品から～』
1996(平成8)	特別展『～日本人の贈りもの～「掛袷紗展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『シルクフェア'96と第14回染織作品展』
1997(平成9)	特別展『アヅマカブキの舞踊衣装展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『～手織りの芸術美～「ラオスの伝統織物展」』
1998(平成10)	特別展『カイコの道具展とシルクフェア'98』

	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 15 回染織作品展と秋のシルクフェア』
1999(平成 11)	特別展『文化の伝承—江戸から現代へ「華麗なる能装束の美」展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『染めの美織りの美 ～人間国宝作家作品を中心として～』
2000(平成 12)	特別展『沖縄の伝統染織展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 16 回全国染織作品展』
2001(平成 13)	特別展『人生をかけた荒井照太郎の手描友禅その美』
	企画展『「熊田千佳穂の昆虫記録展」と親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ブータンの民族衣装とシルクフェア』
2002(平成 14)	特別展『中村光哉友禅染色の詩展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 17 回全国染織作品展とシルクフェア』
2003(平成 15)	特別展『糸目友禅の巧み「人間国宝 山田貢展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『市田ひろみコレクション「世界の民族衣装展」』
2004(平成 16)	特別展『自然をいつくしむ手描友禅「人間国宝 田島比呂子展」』
	企画展『親と子の「歌舞伎人形とかいこの自然科学教室」』
	特別展『第 18 回全国染織作品展』
2005(平成 17)	特別展『世界のふろしき展』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『今に伝えるつむぎの魅力』
2006(平成 18)	特別展『「人間国宝 細見華岳展」—綴織に心を込めて—』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 19 回全国染織作品展』
2007(平成 19)	特別展『インド サリーの世界』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『旧山辺知行コレクション「インドの染織展」』
2008(平成 20)	特別展『アロハ・デザイン展』
	特別展『ラオス女性が伝える手織りの世界』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 20 回全国染織作品展』
2009(平成 21)	特別展『佐賀錦のみやびな世界「人間国宝 古賀フミ展」』
	特別展『開館 50 周年記念「ヨコハマ開港とシルク展」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『鈴木一コレクション「古渡り更紗と名物裂展」』

2010(平成 22)	特別展『ペルシャシルク絨毯の世界』
	特別展『華麗なる能装束「稔りの季」』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『第 21 回全国染織作品展』
2011(平成 23)	特別展『「三浦景生展」ーヨコハマ染陶暦程ー』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ー平山郁夫シルクロード美術館コレクションー 「豊饒なる色彩ーウズベキスタンの布と器」
2012(平成 24)	特別展『「美しい日本の絹」ユミ カツラブライダルコレクション』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
2013(平成 25)	特別展『群馬県立日本絹の里との提携記念 「夢を紡いだシルク」ー「蚕の国」群馬と「シルクの街」ヨコハマー』
	企画展『親と子の「かいこの自然科学教室」』
	特別展『ー美しい日本の絹ー「友禅」』
2014(平成 26)	企画展『世界に羽ばたいたスカーフたち』
	企画『親と子のかいこの自然科学教室』
	特別展『第 23 回全国染織作品展』
2015(平成 27)	企画『親と子のかいこの自然科学教室』
	特別展『今に生きる 江戸小紋 ～小宮家四代の作品を中心に～』
2016(平成 28)	企画展『キモノの美ー人間国宝田島比呂子の友禅ー』
	特別展『第 24 回全国染織作品展』
2017(平成 29)	企画展『ふくらむ はずむ まじわる シルクの輝きを知る～織りの美～』
	特別展『横浜・生糸ものがたり I “かいこ” と暮らすーかながわ養蚕録ー』
2018(平成 30)	企画展『江戸の粋とデザインー小袖コレクションから』
	特別展『第 25 回全国染織作品展』

シルク博物館平成 30 年度年報

令和元年 10 月 31 日発行

編集・発行 シルク博物館

〒231-0023

神奈川県横浜市中区山下町 1 番地

TEL 045-641-0841

